

報道機関各位

## 市営永黒団地建替事業における脱炭素化への取組が 2024年度 NIKKEI 脱炭素アワード「大賞」を受賞！

～贈賞式が3月11日に東京で行われました～

市営永黒団地建替事業にあわせて行う自家消費型太陽光発電・PPA等の取組が、日本経済新聞社が主催する2024年度 NIKKEI 脱炭素アワードにおいて「大賞」を受賞し、3月11日に日経ホール（東京都千代田区）で贈賞式が開催されました。

贈賞式では、武内市長がプロジェクトのプレゼンテーションを行いました。（プレゼンテーション資料は別紙参照）



### 1 NIKKEI 脱炭素アワードについて

「NIKKEI 脱炭素アワード」は、脱炭素社会の実現に向けて意欲的に取り組む企業、自治体、NPO等の取組（プロジェクト、技術開発、研究など）を表彰することで、それらの取組を支援するものです。

### 2 受賞プロジェクト名

一括受電・分散型エネルギー源導入による集合住宅の脱炭素化推進モデルケース創出プロジェクト

### 3 共同提案事業者

レジル株式会社（協定締結事業者）

### 4 プロジェクト概要

市営住宅の屋根を活用した PPA 事業と一括受電方式、蓄電池を組み合わせることで、再生可能エネルギーの自家消費率を最大限高める事業方式を創出し、家庭分野の CO2 排出量削減、脱炭素社会の実現に貢献する公営住宅初の取組です。

### 5 評価のポイント（事務局講評コメント）

本プロジェクトは、集合住宅における家庭部門からの温暖化ガス排出量削減に向け、民間にも広められるスキームを構築した点などが評価されました。

#### 【問合せ先】

都市整備局住宅整備課

（課長）崎田、（係長）有田 電話：093-582-2548

# 一括受電・分散型エネルギー源導入による 集合住宅の脱炭素化推進モデルケース 創出プロジェクト

**Kitakyushu  
Action!**  
動かせ、未来。北九州市

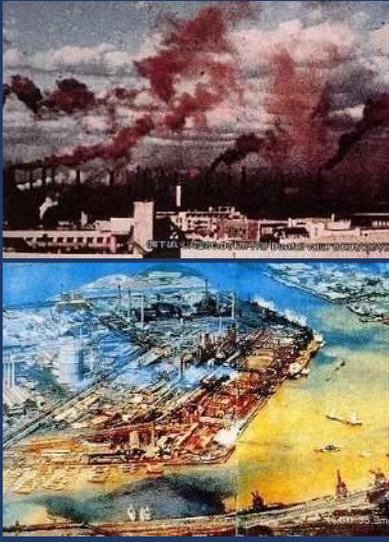
**REZIL**

## 01 北九州市

**Kitakyushu  
Action!** × **REZIL**

5市合併によって誕生 / 高度経済成長を支えた「ものづくりのまち」 / 市民・企業・行政が一体となり公害克服  
**「世界をリードするサステナブルシティ」を目指す**

Before



Now



<市営永黒団地建替事業>

老朽化した市営住宅の建替えにあわせ、PPA等事業者を公募

R6年6月  
事業者公募

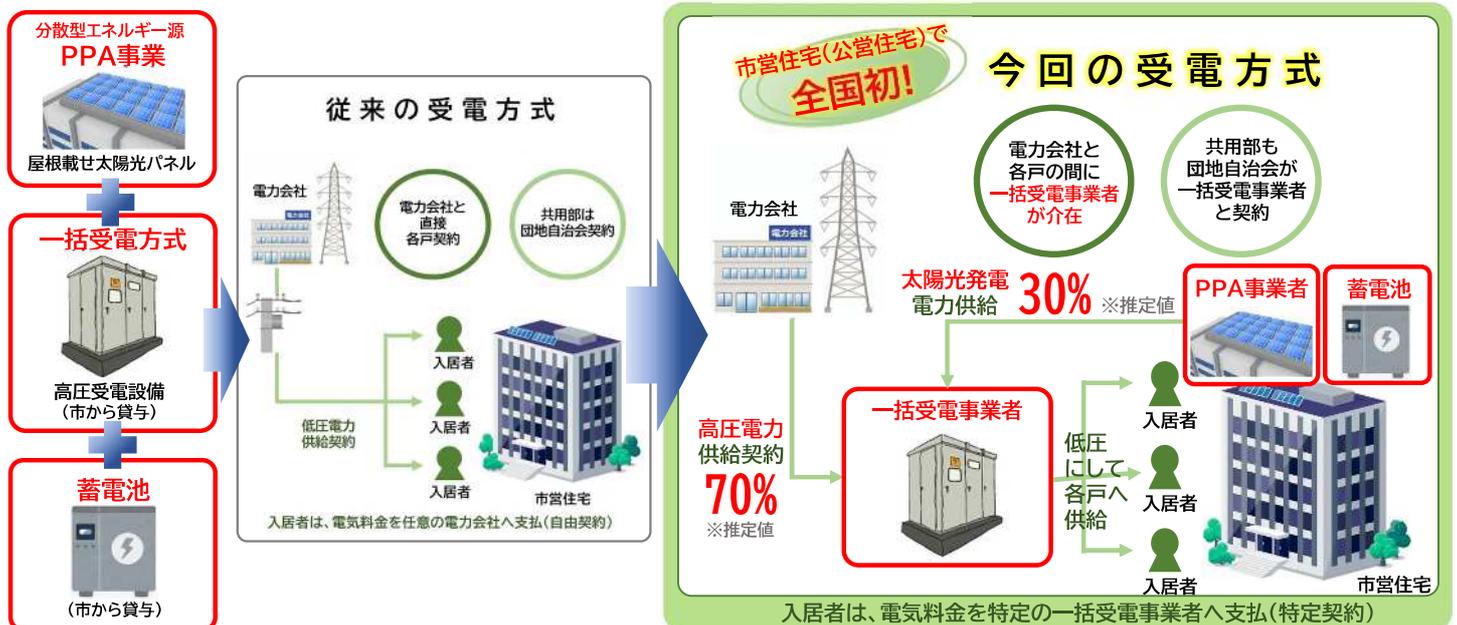
R6年11月  
レジル㈱と事業協定締結

R9年度  
事業(電力供給)開始予定



市営永黒団地完成予想図

「PPA事業」と「一括受電方式」に「蓄電池」を組み合わせることで、  
集合住宅の再生可能エネルギーの「自家消費率」を最大レベルへ引き上げ



## 04 プロジェクト 特徴・効果 ①

① 太陽光発電＋一括受電＋蓄電池の設置・活用 / 住戸(専有部)への電力供給  
→ 家庭分野のCO2排出量削減に貢献



さらにレジルの提案により 市営住宅へ再エネ由来の電力供給が可能に!

実質 100% 再エネ化



CO2排出量削減

公募時の想定 ▲ 42 トンCO2/年 ⇒ レジルの提案 ▲ 168 トンCO2/年

## 05 プロジェクト 特徴・効果 ②

② 太陽光発電＋一括受電＋蓄電池の設置・活用 / 非常時に共用部への電力供給  
→ 「災害レジリエンス」の強化



さらにレジルの提案により蓄電池の自立運転機能を付加



災害レジリエンス

公募時の想定 停電・災害時に共用部へ電力を供給  
⇒ レジルの提案 上記に加え 非常時の自立運転により継続的な電力供給を実現

**三方よし**

- ▶ **建物所有者**にとって … 再エネ設備導入・運営管理でのコスト負担を大幅削減
- ▶ **事業者**にとって … 新たなビジネスチャンスを創出
- ▶ **入居者**に対し … 災害時の安全・安心を提供

⇒ 民間(分譲/賃貸)を含む**集合住宅全体**へ「横展開」

⇒ **家庭分野**において、**CO2排出の大幅な削減**に寄与



Kitakyushu  
**Action!**

動かせ、未来。北九州市



REZIL

協働によってそれぞれの強みを活かし、新たな形のソリューションを創出

今後も地域の脱炭素化を推進するとともに、

「脱炭素ドミノ」への貢献に取り組む